

固定資産評価員の選任について

津山市新魚町二七番地 石尾 久 晴

人権擁護委員候補者の推薦について

津山市山北七六〇番地一 山田 拓 男

六月議会に提出された請願の審査結果

●日本と同等の安全対策のない、アメリカ産牛肉の輸入再開に反対する請願
↓採択

●「品目横断的経営安定対策」にかかわる請願
↓継続審査

●地産地消自治体宣言地域農林水産業活性化を図るための「地産地消自治体宣言」を求める請願
↓趣旨採択

●「単県医療費公費負担制度の見直し」の撤回を原に求める請願書
↓不採択

地球温暖化防止と国土保全のための

日本の森林・林業の幅広い

推進と検討を求める意見書

我が国の森林は、木材の供給はもとより、国土の保全、良質な水の安定的な確保など、豊かな国民生活を送るうえで欠くことのできない多様な機能を有している。

特に近年では、地球温暖化の主たる要因である二酸化炭素の吸収源として重要な役割を果たしている。

地球温暖化対策については、京都議定書に定める我が国の温室効果ガス削減目標六%の内、三・九%を森林による吸収量で確保することとしており、適切な森林整備

が不可欠なものとなっている。

岡山県は平成十六年の台風二十三号で五千五百ヘクタールにも及ぶ風倒木被害が発生し、激甚災害法の適用を受けたとはいえ、未だに手も付けられない被害箇所が大半であり、山主の復旧意欲は喪失し、二次災害の発生、環境汚染が進行している状況である。これらの森林を見る時、日本の山林は一体どうなってしまうのか憂慮に堪えない。

このような時代だからこそ、行政の強力な介入、指導が求められている。昨今の行政改革の中での森林・林業に対する認識は、組織の縮小等に見られるように目先にとらわれた拙策の議論に終始している。

国有林野事業の特別会計の見直しについても、国民生活に大きく関わっており、日本の森林・林業のあり方などの幅広い検討と林野庁において二元的、一体的に管理、経営が行われるためにも、今年度において結論付けを行わず、平成二十二年度までに腰を据えた検討が行われ、対策が講じられるよう地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。

平成十八年六月二十八日

岡山県津山市議会

表紙写真の説明

今回は、勝加茂保育所と広戸保育所を撮影に行きました。

勝加茂保育所に通園している児童は七十四人、保育目標は「生き生きとした子どもをめざして」です。

広戸保育所に通園している児童は四十人、保育目標は「養護の行き届いた環境のもとに、くつろいだ雰囲気なかで子どもたちの欲求を適切に満たし情緒の安定を図る」です。

園名は合成写真です。

編集後記

新市長を迎えての、六月議会でした。所信を明らかにされたこともあり、二十八人の議員が質問に立ちましたので、紙面割りが窮屈になった感もあります。是非ご一読をいただきたいと思います。

この委員会が正式な委員会となって、一年が過ぎました。

単に議会だよりの発行だけでなく、議会広報全体の役割を担うことになっており、今後、どういった活動を行っていくべきか検討中です。手始めに、議会ホームページの充実を図ることから取り組んでいきたいと思えます。皆様方からも、議会広報のあり方についてご意見をいただければ幸いです。

防災対策の充実、私にとって重要な政治課題。梅雨・台風シーズンを迎え、災害のないことを祈りますが、備えあれば憂いなし。皆さんも万全の対策を。

津山市内には黒木キャンプ場や阿波森林公園があり、また、めぐみ荘やもえぎの里など温泉施設があります。夏の暑さを吹き飛ばすため、津山の奥座敷へぜひご来。

六月議会は梅雨の真っ只中。今年は男性的な梅雨だと言われているけれど、今は女性の方がカラッとしており呼び方にも注意しなければと考えさせられる議会だった。

広報調査特別委員会メンバー

- ◎ 末永弘之 ○ 谷口圭三
- 勝山 修・齋藤弘道・高橋 誠
- 竹内靖人・仁木豊司・吉田耕造